

## 描きかけの地誌 / 蒐集

写真学科  
川島崇志

## Unfinished Topography / Collection

Department of Photography  
KAWASHIMA Takashi

*"The great collections are vast, not complete, A great private collection is a material concentrate that continually simulates, that overexcites."*

*The Volcano Lover: A Romance, Susan Sontag, 1992, Farrar Straus Giroux*

「偉大なコレクションとは、膨大なということであって、完成しているということではない。偉大なコレクションを私有するということは、絶えず刺激を与え、興奮させる濃縮物を持つということだ。」

「火山に恋して一口マンズ」スーザン・ソントグ 1992

—『火山に恋して』日本語版（富山太佳夫訳、みすず書房、2001年）より抜粋

スーザン・ソントグの『火山に恋して一口マンズ』は、18世紀にイギリスからナポリ公国に派遣されたハミルトン卿（小説の中ではガヴェリエーレと呼ばれている）という「火山にとりつかれた奇人」の物語である。ガヴェリエーレは、危険なヴェスヴィオ山を歩き回り、溶岩や結晶を蒐集する。物語は、彼を狂言まわしにし、火山の魔力を誘発したかのような革命の動乱、その歴史の因果を描いている。

2014年頃から、地震の影響で火山の動きが活発化している中、その主人公ガヴェリエーレの言う「異常なまでの蒐集への熱情」や「未完成のコレクション」を補助線としながら、実際に噴火が起こった場所だけでなく、これから起こるだろうと注意喚起がなされている土地を訪れるところから制作は始まった。我々は、日本という不安定きわまりない火山島に生息するが故に、誰も見たことの無い航海図を見ることができる。写真をセンサーとして触知し、事後を「take」するのではなく、事前を「make」することによって、「近い未来」を予見しようと試みる。

本作は、2015年3月に個展「描きかけの地誌/蒐集」にて写真および映像インスタレーションとして発表を行い、同年9月に写真集「描きかけの地誌/蒐集（artbeat publishers）」として出版された。本紀要寄稿にあたり、写真集「描きかけの地誌/蒐集」から代表的な作品を抜粋している。

## 謝辞

発刊に際し、ローザンヌ美術大学（Ecole cantonale d'art de Lausanne）の大学院アートディレクションコース主任のフィリップ・エッガー氏にブックデザインを依頼し、様々なコラボレーションのもと制作されたことも重要である。作品集制作の為に、尽力頂いたフィリップ・エッガー氏、後藤繁雄氏、深井佐和子氏には、この場を借りて心から感謝申し上げたい。

















Dust, wet tatami, I can't stop coughing.

Tape-5 "02:21.19"

"When I entered her room, I felt vaguely that  
it was full of stuff. It was enormous, but that is not to say that  
the room was perfectly completed.  
At the end, it was something incoherent that led me."











